

第49回 2023年2.11信教・思想・報道の自由を守る 宮城県民集会



講演

植村 隆 さん
うえ むら たかし

「週刊金曜日」発行人兼社長
元「朝日新聞」記者
元韓国カトリック大学客員教授

「アベ政治が歪めた『歴史認識』

— 歴史修正主義と闘うジャーナリストからの報告 —

私は朝日新聞大阪社会部記者時代の1991年8月、ソウル在住の元日本軍「慰安婦」の女性が証言を始めたという特ダネ記事を書きました。それが、安倍晋三政権下の2014年1月、アベ友の歴史修正(歪曲)主義者から「捏造」と攻撃され、激しいバッシングを受けました。「娘を殺す」とも脅迫されました。「なぜ、私が標的になったのでしょうか」。これまでの闘いを報告し、アベ政治が歪めた「歴史認識」について皆さんと共に考えたいと思います。

■ オンライン同時配信を行います。詳細は裏面をご覧ください。

2023年 2月11日(土) 午後1時半

(開場1時)

仙台国際センター
会議棟 大ホール

(地下鉄東西線「国際センター」駅より徒歩1分) 【入場無料】

◇ 13時10分より、苦米地サトロさん・宮城のうたごえによる歌があります。早めにご来場下さい。

◇ 講演会后、デモ行進を行います。ふるってご参加ください。

◇ 託児所を設けます。
当日、受付にお申し出下さい。(無料)



主催：靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議



● 講師 植村 隆（うえむら たかし）さん

1958年、高知県生まれ。早稲田大学政経学部政治学科卒。1982年、朝日新聞社入社。仙台支局、千葉支局、東京本社外報部、大阪社会部などを経て、テヘラン支局長、ソウル特派員、北海道支社報道部次長、東京本社外報部次長、北京特派員、函館支局長などを歴任し、2014年3月早期退職。2012年4月より北星学園大学非常勤講師（2016年3月まで）2016年3月より韓国のカトリック大学校 招聘教授（2020年度まで）。2018年9月より『週刊金曜日』発行人兼 株式会社金曜日社長。著作に『ソウルの風の中で』（社会思想社1991年）、『マンガ韓国現代史コバウおじさんの50年』（金星煥氏との共著 角川ソフィア文庫 2003年）、『「真実」私は捏造記者ではない』（岩波書店 2016年）など。

● なぜ？ 「建国記念の日」に集会を開くわけ

2月11日が「建国記念の日」とされる確かな根拠はありません。明治政府が「今から2600年以上前に神武天皇が最初に天皇に即位した日」という神話に由来して決めただけです。ですから1948年7月に「戦後日本の民主主義にふさわしくない」として一度廃止されました。しかし1967年、戦前への回帰をめざす当時の政府がこの日を復活させたのです。

日本国憲法が宣言しているとおり、日本国の主権者は天皇ではなく国民です。私たちは、民主主義や 信教・思想・報道の自由を大切にする立場から、「国」とは何か、どういう国を「建てる」べきなのかを考えるために、この集会を開いています。

どうぞお集まり下さい。

【インターネット配信での視聴方法】下記のいずれかにアクセスしてください。

☆YouTubeのチャンネル(右のQRコードをご利用ください)

https://www.youtube.com/channel/UCXumQBb3ASRxco_v0q5ck0g

☆ホームページ「2・11信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会」

<http://211miyagi.jimdofree.com/>

☆Facebook 「2・11信教・思想・報道」で検索すると当集会が出てきます。



※ この集会は団体カンパと当日の個人カンパで運営しております。

当日参加できない方は下記口座へのお振込みのご協力をお願い致します。

七十七銀行旭ヶ丘支店普通口座 5280974 「靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議」

